

はじめに

“The undiscovered workforce” 直訳すると「未発見の労働力」。

これは全英自閉症協会が発行した就労ガイダンスの名前です。「未発見」とは、いわゆる「発達障がい」のある人たちの豊かな労働力が埋もれていることに誰も気づいていないという意味です。

発達障がいのある人たちと一緒にいると、その人たちの多くが根っからの仕事人であることを「発見」します。そして残念なことに、その多彩な能力が評価されにくく、発揮されずにいることにも気づかされるのです。

札幌市では、発達障がいのある人たちが社会で十分活躍できるよう、支援の体制づくりに取り組んでいます。そしてこの冊子は、就労支援関係者によるプロジェクトチームが、発達障がいのある人たちが持つ多彩な才能に気づくために知恵を集め、今の社会がより多様で豊かになるよう、そのきっかけ作りとして制作したものです。同時に、いわゆる、定型発達の人たちを理解するための道具として、つまり、お互いがお互いを知るためのコミュニケーションツールとして使うことも可能です。監修として、札幌市精神保健福祉センターの精神科医による医学的観点も加え作成致しました。今後、広く皆さまに使っていただければ幸いです。

平成21年 札幌市保健福祉局
就労支援プロジェクト

登場人物の紹介



虎夫さん

虎夫さんは、とあるベーカリーに就職した男性です。彼は、自閉症*という診断を受けています。あいまいな指示や予定外の仕事に戸惑い、自分から進んで指示を聞かず怒られることもしばしばです。でも、ちょっとしたきっかけで腕の良い職人に!



卷子さん

卷子さんは、とある事務所に就職した女性です。彼女は、アスペルガー症候群*の診断を受けています。心配性で疲れやすくいつも緊張しています。人の評価を気にしすぎたり、皮肉に気づけなかったり、人間関係に悩んでいます。でも、ちょっとしたきっかけでエキスパートに!

*今回は発達障がいの中でも、自閉症、アスペルガー症候群といった「広汎性発達障がい」のある方の就労支援を中心に制作しました。「広汎性発達障がい」については、「発達障がい」とはどんな障害? (22ページ)をご参照ください。

この虎の巻は、当事者の方たちの体験談を元に、発達障がいのある人たちが職場でトラブルになりがちな“認識の違い”を **ギャップ!!** として表現し、その解決策となる支援ポイントを **チェンジ!!** で示しています。

双方の理解が深まるほど **グッドジョブ!!** という好結果につながります。

職場で使える「虎の巻」もくじ

●虎夫さん編	虎の巻 その一	一目瞭然 見本を見れば完成度アップ ……………	4
	虎の巻 その二	向き不向き 得意なことなら達人に ……………	6
	虎の巻 その三	順番付け 手順が決まれば効率アップ ……………	8
	虎の巻 その四	指示系統 聞く人決めれば迷わない ……………	10
●卷子さん編	虎の巻 その五	いつまでに 期限がわかれば集中力倍増 ……………	12
	虎の巻 その六	休憩時間 休みのとり方は千差万別 ……………	14
	虎の巻 その七	皆の手本に ルールがわかれば模範社員 ……………	16
	虎の巻 その八	困ったときは 相談できれば、ここはいつも雨のち晴れ! ……	18
		多彩な能力が発揮される職場へ ……………	20
		「発達障害」とはどんな障害? ……………	22
		発達障がいのある方の就労に関するご相談は ……	23